



また、そういった効果の要因はボランティアの皆さんのご支援だけではなく、図書館職員の努力にもあります。現在、図書館は、駐車場もほぼなく、通路なども制限されており、ご不便をかけている状況なのですが、そのような中でも利用者人数は増加傾向にあり、職員の日々のおもてなしが功を奏していると考えています。

例えば、受験シーズンに伴い、学生のために学習室の開放をしているのですが、あわせて手づくりの「合格お守り」をプレゼントしています。毎年人気を博している取組ですが、「図書館で勉強をして合格しました!」との報告を受けたときには、本当に嬉しく感じました。利用者の方と、喜びを共有できることも、やる気の原動力の一つです。



合格お守り

図書館 × ○ ○

今年(2019年)の8月には、図書館を含む新しい複合文化施設「IYO夢みらい館」がオープンする予定です。ぜひ、図書館 × ○ ○ といったコラボ(協働)企画をやりたいと妄想している最中

なのですが、今まで行った(参加した)取組の中から、実現したいと思うものはいくつか。

【× 地域の名人・達人(ふたみ図書プロジェクト)】

テーマを決めて、関連する本のブックトークをきっかけに、地域の名人・達人にその知恵や技術を教わるイベント。(POPづくり、トートバックづくり等)

【× 商店街&ICT(郡中まちクエスト)】

地域の店や名所などを目的地として設定し、スマートフォンを使って各所をめぐる。目的地に近づくと、そこにまつわるクイズが出題され、正解すればポイントを取得できる。

【× 本好きの集まり(いよ本プロジェクト)】

テーマに沿って、各自が思い思いの本を持ち寄り、紹介しあい、人と本、人と人の輪を広げるイベント。



いよ本プロジェクト

今まで活動してきた中で、潜在的に図書館に関わってみたい、本を介した取組に参加したいという人が多くいることが分かりました。そのためには、やはり「きっかけ」づくりが重要です。図書館が媒体となり、できるだけ多くの人たちに對して「出番」と「居場所」を提供できるようにしたいと考えていますので、今後ともお力添えの程、よろしく願いいたします。



「IYO夢みらい館」完成イメージ